

令和3年度 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業 FAQ

No.	対象事業	質問	回答
1	再エネ導入事業	現時点で再エネ導入事業の残予算いくらか。 また、予算が終了した際にはどのように公表されるのか。	現時点での残予算については公開しておりません。 予算が残り少なくなってきた場合には、ホームページ上に掲載する予定としております。
2	全体	交付申請書を提出したが、受領済みか。 また審査状況を教えてください。	受領状況について、お答えはいたしておりません。公募要領p39に記載しておりますが、配送状況が確認できる手段で郵送することとございます。配送状況にて受領済みか否かをご確認くださいませようお願いいたします。 なお、各審査状況についてもお伝えいたしておりませんのでご了承ください。
3	全体	配送事故があった場合、受付終了後でも申請書を受け付けているか。	受け付けはできません。郵送等の遅延等の事故について、SIIはその一切の責任を負わず、その事故に起因して生じる当該申請者の損失に対していかなる義務も負いません。
4	再エネアグリ事業	公募要領p26 3-11採択予定件数について 所属するコンソーシアムが採択されなかった場合、採択されたコンソーシアムに変更することは可能か。	追加公募に関しましては未定となっております。追加公募を行う際はホームページで告知致します。
5	全体	各事業における申請に関する進捗（交付決定通知など）があった場合は、メール等で個別連絡をもらえるのか。ホームページへの掲載のみか。	交付決定については個別で連絡いたしますが、進捗は申請システムでの掲載のみとなります。
6	再エネアグリ事業	再エネアグリゲーターが新規で再エネ等設備を導入する場合、どのように申請すればよいか。	再エネアグリゲーション実証事業と再エネ等導入事業それぞれに申請してください。
7	再エネ導入事業	業務用産業用PV（太陽光発電）のみの設置の場合でも補助対象となるか。	実証への活用が可能であれば補助対象となります。

令和3年度 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業 FAQ

No.	対象事業	質問	回答
8	再エネ導入事業	同一箇所に複数の住宅用PCS（4800Ah未満）を設置し、合計が4800Ahを超過する場合は対象となるか。	家庭用蓄電システムは対象外となります。 ひとつの蓄電システムとして4800Ahを超えている必要があります。
9	再エネ導入事業	業務用・産業用蓄電システムについて、下記を導入予定。目標価格はいくらになり、補助対象であれば補助金額はいくらになるのか。 ・蓄電容量：32.0 kWh ・定格出力：29.7 kW ・蓄電池価格：5,049,000円 ・蓄電池設置工事費：2,250,000円 （蓄電池＋工事費＝7,299,000円） ※ハイブリッドPCS	公募要領p20に記載のとおり、目標価格の計算は以下の通りです。 （設備費＋工事費・据付費） 21万円/kWh（蓄電容量） ⇒32.0 kWh×21万円＝6,720,000円 当機種はハイブリッドPCSのため、上記金額から1kWあたり2万円を上乗せすることができます。 ⇒6,720,000円＋（29.7kw×2万円）＝7,314,000円 よって目標価格は7,314,000円となり、7,299,000円は下回っているのでクリアしています。 補助金額は、公募要領p27の記載のとおり以下の計算となります。 補助率は設備費＋工事費の1/3以内 又は、7万円/kwh（蓄電容量）の低い額 ⇒7,299,000×1/3＝2,433,000円 又は 32.0 kWh×7万円＝2,240,000円 よって補助金額は2,240,000円となります。
10	再エネ導入事業	補助金を受けて導入した設備を処分する場合、補助金の返還は発生するのか。	各リソースの処分制限期間内に実証に参加しなくなった、処分することになった場合は補助金返還対象となり得ます。 処分制限期間については、減価償却資産の耐用年数をご確認ください。
11	再エネ導入事業	交付申請したが、やむを得ず取下げしたい。何か書類を提出する必要があるのか。	提出の必要があります。申請代行者を通して、SIIまでメールにてご連絡ください。